

第5回富山県水道ビジョン検討会 議事概要

1 日時

令和8年2月10日（火）10時00分から10時45分

2 場所

富山県民会館 702号室

3 出席者

委員： 黒田会長、佐藤委員、島野委員、前田委員（代理：山寄氏）、寺井委員、
小森委員、牧野委員（代理：山田氏）、山道委員

事務局： 有賀厚生部長、守田厚生部次長、清水生活衛生課長ほか

4 議事

(1) 富山県水道ビジョン（案）について

ア パブリックコメントの結果

事務局から資料1について説明後、質疑応答が行われた。

【質疑応答】特になし

イ 前回から修正した事項

事務局から資料3について説明後、質疑応答が行われた。

【質疑応答】

(A委員)

1点目に、基本理念の「水の王国」は、非常にいいワーディングだと考えているため、資料2の概要版の左下の基本理念を目立つように書いても良いのではないかと。

2点目に、資料2では実現方策と目標が併記されているが、本編P88には目標が書いておらず、資料2のように併記したほうが、後々見直しやすいのではないかと。

3点目に、「住民に期待する役割」で、住民のことを「顧客」と「利用者」のどちらの呼び方が良いのか経済学や行政学上の定義が確認できていないが、収益事業というよりは行政サービスの受益者という意味として「利用者」という言葉にしても良いのではないかと。

(事務局)

1点目は、修正の方向で検討する。

2点目は、本編ではP88以降に個々の目標を挙げたものを、概要版では併記したため、ページの構成としてはこのままでも読み取れると思料。

3点目は、修正の方向で検討する。

(A委員)

色々な総合計画や戦略を調査することが多く、長期的な計画については、3～5年

後に進捗を行政評価と併せて確認することが多い。その際、目標値が見つからないことが多く、住民に対する分かり易い開示という点でも、目標と施策は併記することが望ましいのではないかと。

(事務局)

本編のスペースに収まるか確認して、記載方法を検討する。

(B委員)

「取組み」の送り仮名は、公文書上では動詞の場合「取り組む」、名詞の場合は「取組」であり、公文書以外の公表資料で「取組み」とする場合もあるが、今回このビジョンの中で使われている「取組み」を、通常は使用しないのではないかと。

(事務局)

修正の方向で検討する。

(2) その他

事務局から今後のスケジュール、参考4について説明後、質疑応答が行われた。

【質疑応答】特になし

(3) 全体質疑

(会長)

パブリックコメントは、どの時点のビジョンについて照会したのか。

(事務局)

資料3の補足1と補足2に記載しているご意見を反映させたもので実施している。

(C委員)

水道ビジョンは目標年度が令和17年度までであり、その後の計画を予定しているかは不明であるが、今回のビジョンが1年4か月かけて検討してきた中で、関係する事業体との十分なキャッチボールが出来ていたのか、1年4か月という期間がどうかということを考えながら、次のビジョン等の策定に向けて準備をお願いしたい。

(事務局)

今回の意見を踏まえて準備を進めていく。関係する事業体とのキャッチボールについては、検討会を実施するにあたり、案を各事業体に確認していただき、その結果を検討会で示す形で、委員に加わっていない事業体にも随時確認・反映してきた。

(4) まとめ

会長が本日の議事についてまとめを述べた。

(会長)

下記のような意見があった。

- ① 7章の p. 87-88 基本理念と取組の方向性の箇所に、目標値を記載すること
- ② 住民は「顧客」ではなく「利用者」と表現すること
- ③ 資料2で基本理念を目立つように記載すること
- ④ 「取組み」の送り仮名を再度確認すること
- ⑤ 次回検討会を行う場合は、進め方について検討すること

なお、今回が最後の検討会となるので、追加で意見等がある場合は、メール等で事務局へ連絡してほしい。